

市長から 市民のみなさんへ



山陽小野田市長 白井博文

13 「市内25施設に提言箱を置きました」と 「山陽小野田市の財政の現状」について

市内の25施設に提言箱を置きました

表紙の写真にありますように鳥（＝聞きとりという名前です）がデザインされた提言箱を今月から市内の25施設に置くことにしました。市に対して疑問に思うこと、納得のいかないこと、また改善したら良い点など、市政に関することなら何でも結構ですので、どんどんお寄せいただきたいと思います。投函されたものは、すべて私が目を通し、匿名のものでない限りご返事をさせていただきます。たくさんの"声"をお待ちしています。

関連して、今回の広報では、市役所の"耳と口"と題し、市民のみなさんの声を市役所へ届けるにはどのような方法があるか、そして一方で市役所は市民のみなさんに対してどのように情報をお伝えしようとしているかについて特集しました。このコラムでも繰り返しお話ししていますが、私が行政運営していくうえでの信条は「市民参加による市民本位のまちづくり」という言葉に尽きます。都合の悪い情報は市民に知らせないまま政策を決定し、それに市民が従うという旧態依然の行政手法では、これからの時代のまちづくりをすすめていくことはできません。マイナスのものを含めてすべての情報を市が市民に発信し、市政に関する予備知識をもった市民が市に対して前向きな意見や積極的な提言を行い、それを市が大きな"聞く耳"でしっかりと受け止める～一人でも多くの市民と市役所との間で、言葉の、そして心のキャッチボールが頻繁に行われることが、市民とともに歩くまちづくりの大前提にあると強く思っています。

今回の特集は、市がそのための環境づくりにどのように取り組んでいるかをご紹介しますが、提言箱の設置とともに特にお伝えしたいのが"出前講座"です。一覧の中からみなさんが興味をもつ

たメニューを指定いただければ、個々の業務に精通した職員が、みなさんのところにおじゃまし、お話しするという試みです。一覧メニューを見ると、生涯学習の一環としてご利用いただけるものなど"おいしいメニュー"がそろったようです。自治会、PTA、老人会などの集まりに、ご遠慮なく、どんどん"出前"を注文していただければと思います。

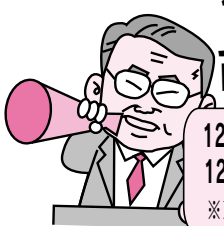
「開かれた市長室」のことについてもお話しておきます。私は、都合のつく限り、市長に会いたいと希望される方にお会いするようにしています。公務の都合もありますので短い時間になるかもしれませんが、市に対して提言、苦言をしたいという方は、ご遠慮なく秘書室（☎82-1120）までご連絡ください。

山陽小野田市の財政の現状について

次ページから山陽小野田市の財政の現状についてお知らせしています。専門用語も多々あり、みなさんにとって理解しにくい内容になっているかもしれませんが、大まかにいうと、合併時にお金がたらなかったため、貯金（＝基金）のほとんどを取り崩してしのいだが、平成18年度も17年度同様にお金が足りないことが予想され、貯金も底をついているため、用立てる方法がなく、危機的な状況にあるということです。

これから先の数年は毎年のようにこのような事態が続くことも予想されますが、なんとしてでも赤字再建団体への転落は阻止しなければと、私とともに市役所職員、一丸となってこの難局を乗り切ろうと必死に取り組んでいるところです。しかし、現在は予算編成作業の真っ最中であり、どのような対策を行うのか、どれほど市民生活に影響を及ぼすかについては具体的にお話できる状況にはありません。

18年度予算案が固まる来年の2月か3月に広報、ホームページ等で、再度、私から市民のみなさんへこの問題についてお知らせするつもりでいます。その時まで今しばらくお待ちいただきたいと思います。



12月の 市政説明会

12月11日(日) 文化会館
12月25日(日) 高千穂公民館
※19:00から 1時間30分程度です



12月の 対話の日

12月15日(木) 高泊公民館
※19:00から 1時間30分程度